

科目責任者 山崎 紀子 (薬学教育研究センター/地域医療学)

■教育目的

コミュニティファーマシー (地域薬局) のあり方を考えていく上で、薬局の役割や業務内容、医薬分業の意義、かかりつけ薬剤師、セルフメディケーションなどに関する基本的知識と、それらを活用するための基本的態度を習得する。患者の安全確保と QOL に貢献できるようになるために、服薬指導などに関する基本的知識も習得する。また、社会全体の中における地域住民に対する健康サポート薬局としての役割を理解する。(知識、技能、態度) 【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑤】

■学習到達目標

1. 地域薬局の役割を列挙する。(知識)
2. 医薬分業のしくみと意義を討議する。(知識・技能・態度)
3. 薬局の業務運営を概説する。(知識)
4. 地域住民のセルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を討議する。(知識・技能・態度)
5. 服薬指導上の注意点を調べ列挙できる。(知識、技能)

■準備学習 (予習・復習)

予習：薬局薬剤師の業務について調べておく。(30分以上)

復習：学んだ知識をもって薬剤師の仕事を確認する。(30分以上)

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1～2	地域薬局の役割 (1)	地域貢献、学校薬剤師、地域連携、災害医療、医療費の適正化、健康サポート薬局	B(4)-①-1～3,5,6、②-3、F(1)-③-1、(5)-②-1、④-1
3	医薬分業	医薬分業のしくみと意義、薬局の法的位置づけ、かかりつけ薬局	B(4)-①-2
4	疑義照会	不適切な処方箋と疑義照会	F(2)-②-1,4,5,6,11
5	服薬指導の基本	守秘義務、服薬指導上の注意点、注意すべき生活指導項目、患者接遇、薬歴管理	F(1)-②-1、(2)-④-7
6～7	地域薬局の役割 (2)	在宅医療、居宅介護	B(4)-②-1,2,4,5 F(4)-②-1,2、(5)-①-1～3、③-1
8～9	セルフメディケーション	セルフメディケーション、一般用医薬品、要指導医薬品サプリメント、保健機能食品等	B(4)-①-4
10	薬局の業務運営 (1)	薬局の業務運営、流通のしくみ	B(4)-①-1 F(1)-②-1
11～12	薬局の業務運営 (2)	医療保険制度、調剤報酬、保険薬剤師療養担当規則、保険医療療養担当規則	B(3)-①-5～7、②-3、(4)-①-3 F(1)-③-2,5
13～14	服薬指導 (1) (2)	(1) 服薬指導の実際 (医療用医薬品) (2) 服薬指導の実際 (一般用医薬品)	F(1)-②-2、(2)-④-2,3、(3)-③-3、(5)-③-2～4
15	総合演習	まとめ	

■授業分担者

山崎 紀子 (No.1～5・15)、宮沢 伸介 (No.6～9)、菅野 敦之 (No.10～14)

■課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法

質問を個別に受け付け、解説・説明をする。

期末試験の成績 100% で評価する。

■教科書

講義プリント

■参考書

『調剤学総論 第12版』堀岡 正義著 (南山堂)

『薬事法規・制度及び倫理解説 (2018-19年版)』薬事衛生研究会編集 (薬事日報社)

『OTC薬ガイドブック第3版 選ぶポイントすすめるヒント』堀 美智子監修 (じほう)